

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日		
調書番号	07-01	所管部	水産林務部	作成責任者	漁港漁村課長 山本明宏	
				担当係	計画係 28-318	
I 基本事項（基準日時点）						
事業種別	水産基盤整備事業(水産流通基盤整備事業)					
ふりがな 地区名	えさしなん部 枝幸南部	市町村名	枝幸町	総事業費	13,694 百万円	
負担割合	国	道	市町村	その他		
	64.0%	25.8%	5.2%	4.9%		
		8,766 百万円	3,536 百万円	716 百万円	676 百万円	
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安全かつ良質な水産物を安定的に供給するため、漁業生産活動や水産物流通の拠点となる漁港を整備するとともに漁港の耐震化など防災機能の強化を図る。 ●各地区の課題である航路・港内静穏、漁船の大型化や港内の狭隘化に対応すべく漁港拡張(岸壁整備・水域増深・用地造成・防波堤整備等) ●国内外の衛生管理のニーズに対応するための屋根及び災害時の早期再開を図るため耐震機能を確保した係留施設等を整備 					
	【アウトカム】等 ・水産物競争力強化による輸出货量増加（衛生管理体制下で水揚げされる水産物の割合 【整備前 0% → 整備後 90%】） ・岸壁の耐震化率【整備前 0バース → 整備後 3バース】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・港内、航路静穏の確保や越波に対応するため、外防波堤等の整備を行う。（音標地区、乙忠部地区、山臼地区、徳志別地区、岡島地区） ・衛生管理の向上のため、天蓋施設及び清浄海水供給施設、排水処理施設、荷さばき所の整備を行う。（音標地区、乙忠部地区、山臼地区） （荷さばき所の事業主体：枝幸漁協） ・港内狭隘状況を改善するため、岸壁や船揚場の整備等を行う。（音標地区、乙忠部地区、山臼地区） ・大規模災害発生後における漁業活動の早期再開を図るため、岸壁の耐震化整備を行う。（音標地区、乙忠部地区、山臼地区） ・就労環境や衛生環境の改善のため、用地舗装や岸壁の改良等を行う。（音標地区、乙忠部地区、山臼地区、岡島地区） ・漁船の大型化に対応するため、航路・泊地の浚渫を実施するとともに、船揚場（漁船上架施設）の整備を行う。（音標地区、乙忠部地区、山臼地区） （船揚場の事業主体：枝幸漁協） 	工事費内訳	【音標地区】	(百万円)	(百万円)	(百万円)
				前回評価	今回評価	増減額
			東防波堤 L=50m → L=180m	143	1,397	1,254
			北護岸(改良) L=156m	446	465	19
第2北護岸 L=240m	912	952	40			
東護岸(改良) L=105m	180	269	89			
-4.0m泊地(新設・防波堤撤去) 25,700㎡ / 148m	400	418	18			
-4.0m岸壁(新設・天蓋施設) L=172m / L=154m	988	1,147	159			
-3.5m岸壁 L=15m	28	30	2			
-3.0m岸壁(新設・補修) L=15m / L=68m	52	56	4			
船揚場 L=22m	33	35	2			
道路(新設・補修) L=120m / L=68m	57	61	4			
用地(改良) A=19,300㎡ → A=21,100㎡	171	442	271			
用地 A=500㎡		10	10			
清浄海水供給施設 一式 → 廃工(-4.0m岸壁に移行)	95	0	△ 95			
排水処理施設 一式 → 廃工(-4.0m岸壁に移行)	19	0	△ 19			
	(百万円)	(百万円)	(百万円)			
	前回評価	今回評価	増減額			
【乙忠部地区】	209	219	10			
東防波堤(改良) L=110m	228	238	10			
北防波堤(改良) L=120m	570	595	25			
北護岸(改良) L=200m	275	288	13			
南護岸(改良) L=144m	28	30	2			
-4.5m航路 A=11,400㎡	28	30	2			
-4.0m泊地 A=15,000㎡	85	89	4			
-3.5m泊地 A=11,400㎡	893	1,048	155			
-4.0m岸壁(新設・天蓋施設) L=194m / L=154m	143	150	7			
-3.5m岸壁 L=75m	28	30	2			
船揚場(附帯施設) 一式	38	40	2			
道路 L=290m	19	60	41			
用地(改良) A=9,800㎡ → A=11,970㎡	95	0	△ 95			
清浄海水供給施設 一式 → 廃工(-4.0m岸壁に移行)	19	0	△ 19			
排水処理施設 一式 → 廃工(-4.0m岸壁に移行)						
（事業主体：枝幸漁業協同組合 ※道費負担なし）	(0)	(1,180)	(1,180)			
荷さばき所 一式						
	(百万円)	(百万円)	(百万円)			
	前回評価	今回評価	増減額			
【山臼地区】	190	530	340			
外防波堤 L=50m	143	150	7			
新北護岸 L=50m	143	150	7			
新北護岸(改良) L=50m	76	247	171			
突堤 L=40m	19	20	1			
-4.5m航路 A=6,800㎡	38	40	2			
-4.0m泊地 A=17,500㎡	722	981	259			
-4.0m岸壁(新設・天蓋施設) L=168m → 191m / L=154m	47	50	3			
-3.5m岸壁 L=19m	38	298	260			
船揚場(改良) L=16m	19	25	6			
道路 L=100m → L=120m	76	509	433			
用地(改良) A=8,000㎡	95	0	△ 95			
清浄海水供給施設 一式 → 廃工(-4.0m岸壁に移行)	19	0	△ 19			
排水処理施設 一式 → 廃工(-4.0m岸壁に移行)						
（事業主体：枝幸漁業協同組合 ※道費負担なし）	(160)	(253)	(253)			
船揚場(上架施設) 一式						

			【徳志別地区】	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			外防波堤 L=60m	前回評価	今回評価	増減額
			北防波堤(改良) L=100m → 廃工	256	268	12
			北護岸(改良) L=117m → 廃工	285	0	△ 285
				228	0	△ 228
			【岡島地区】	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			外防波堤 L=30m	前回評価	今回評価	増減額
			北防波堤(改良) L=24m	190	199	9
			北護岸(改良) L=23m	66	70	4
			用地(改良) A=4,200㎡ → 3,000㎡	66	70	4
				38	30	△ 8
			【全地区】	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			測量設計費 1式	前回評価	今回評価	増減額
				474	525	51
			計	9,410	13,694	4,284

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり	栽培漁業の推進や経営の安定化等による水産業の振興
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	<p>【計画名：北海道水産業・漁村振興推進計画 P12】 (安全かつ良質な水産物の安定的な供給) ・水産物の水揚げ拠点である漁港において、屋根付き岸壁の整備など、衛生管理型漁港の整備を推進します。</p> <p>【計画名：北海道水産業・漁村振興推進計画 P15】 (快適で住みよい漁村の構築) ・大規模な地震や津波、近年激甚化・頻発化する異常気象等に対応するため、海岸保全施設や漁港の耐震岸壁の整備、漁村における防災情報伝達施設や避難施設の整備など、漁港漁村の防災・減災対策を推進します。</p>			
		関連する指標	-		

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							事前評価又は当初	H30(2018)	H30(2018)	H28(2016)	R9(2027)
前回再評価											
今回評価			R5(2023)	R9(2027)							

変更理由・内容(概要)

- ・枝幸漁業協同組合が事業主体である「荷さばき施設」を計画変更で追加(乙忠部地区)(増額：1,200百万円【道費負担無し(国費と漁協費のみ)】)
- ・防波堤等の断面変更等による増額(音標地区、乙忠部地区、山臼地区)

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	当漁港は、ほたて桁網漁業の4輪採による漁獲や稚貝放流を支える基地港として重要な役割を担っていることから、漁港整備が行われず漁業活動の継続が困難になると、地域経済活動に多大な影響が生じる。また、当漁港を含む宗谷南部海域は対EU輸出ホタテガイ生産海域に指定されており、衛生管理対策の向上が求められている。このため、天蓋施設等を備えた衛生管理型漁港の整備及び漁港の拡張整備や静穏対策等について要望されていた。															
2. 事業検討の手續(住民ニーズの把握等)	<ul style="list-style-type: none"> ● H26～次期計画に向けた地元協議 ● H28.3 漁港統合により衛生管理の推進体制の強化 ● 枝幸町、枝幸漁協、枝幸町漁港建設促進期成会連合会より要望書の提出(H27.2、H28.2、H29.2) ● H28年(2016年)～H29年(2017年) 事前評価 ● H30年(2018年) 事業着手 															
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● オホーツク枝幸地区 オホーツク枝幸漁港 158経営体 産物競争力強化による輸出量増加 (衛生管理体制下で水揚げされる水産物の割合 【整備前 0% → 整備後 90%】) 岸壁の耐震化率【整備前 0バース → 整備後 3バース】 															
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容										
事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容												

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画

施工(工種)区分	工事内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	進捗状況	事業費(百万円)
音標地区	東防波堤		← L=180m →									100%	1,397
	北護岸(改良)		← L=34m			← L=5m			← L=117m			25%	465
	第2北護岸								← L=240m			0%	952
	東護岸(改良)		← L=105m									100%	269
	-4.0m泊地(新設・防波堤撤去)									A=25,700m ² /L=148m ←-----→		0%	418
	-4.0m岸壁(新設・天蓋施設)									← L=172m/L=148m →		0%	1,147
	-3.5m岸壁									L=15m ←-----→		0%	30
	-3.0m岸壁(新設・補修)									L=15m / L=68m ←-----→		0%	56
	船揚場									L=22m ←-----→		0%	35
	道路(新設・補修)									← L=172m/L=148m →		0%	61
	用地(改良)			← A=12,200m ²						← A=8,900m ² →		58%	442
	用地(新設)									← A=500m ² →		0%	10
乙忠部地区	東防波堤(改良)			← L=110m								100%	219
	北防波堤(改良)			← L=115.1m				L=4.9m				96%	238
	北護岸(改良)								← L=200.0m →			0%	595
	南護岸(改良)		← L=156.1m							(L=156.1m) ←-----→		50%	288
	-4.5m航路							A=11,400m ² ←-----→				0%	30
	-4.0m白地							A=15,000m ² ←-----→				0%	30
	-3.5m白地									A=11,400m ² ←-----→		0%	89
	-4.0m岸壁(新設・天蓋施設)			← L=194.0m						(L=154.0m) -----→		56%	1,048
	-3.5m岸壁									← L=75.0m →		0%	150
	船揚場(附带施設)									← 一式 →		0%	30
	道路									← L=290m →		0%	40
	用地(改良)									← A=11,970m ² →		0%	60
	荷さばき所									← 一式 →		0%	1,180
山臼地区	外防波堤		← L=50m →									100%	530
	新北護岸									← L=50m →		0%	150
	新北護岸(改良)						L=50m					100%	150
	突堤				← L=40m →							100%	247
	-4.5m航路									A=6,800m ² ←-----→		0%	20
	-4.0m泊地									← A=17,500m ² →		0%	40
	-4.0m岸壁(新設・天蓋施設)									L=191m / L=154m ←-----→		0%	981
	-3.5m岸壁									L=19m ←-----→		0%	50
	船揚場(改良)			← L=16m →								100%	298
	道路									← L=120m →		0%	25
	用地(改良)					← A=8,000m ² →						100%	509
	船揚場(上架施設)					← 一式 →						100%	253
徳志別地区	外防波堤					← L=30m			← L=30.0m			50%	268
岡島地区	外防波堤					← L=4.0m			← L=2.6m			13%	199
	北防波堤(改良)									← L=24m →		0%	70
	北護岸(改良)									← L=23m →		0%	70
	用地(改良)									← A=3000m ² →		0%	30
全地区	測量設計費							1式				60%	525

1. 進捗状況

(2) 進捗状況

事業計画策定後5年が経過した時点で進捗率が42%と若干の遅れが見られるため、今後重点的な整備を図ることとし、積極的に国に予算要求していく考え。

b

a : 概ね予定どおり実施している。 b : 事業計画・期間等を変更し実施する。
c : 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳 (百万円)		費用の内訳 (百万円)		備考
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	
	水産物の生産性向上	17,139	建設費	12,611	<ul style="list-style-type: none"> ● 「水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン」(R5年6月改訂 水産庁漁港漁場整備部)に基づき算出。 ● 効果は、施設整備による漁業生産コストの削減、漁獲機会の増大、漁獲物の付加価値化、漁業就労者の快適性・安全性向上、耐震化による漁業活動停止の回避効果を年間便益として計上。 ● 効果及び費用はR5(2023)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出する。
	漁業就業環境の向上	74	維持管理費	37	
	非常時・緊急時の対処	63			
	合計(B)	17,276	合計(C)	12,648	
	B/C	前回算定年度 : H28年度(2016年度) 【事前評価】 前回算定時B/C : 1.47(合計B) : 11,001 合計C : 7,475			
	R5 現在	変更理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費の増額に伴う費用の増加 ・ 労務単価等の上昇に伴う便益の増加 ・ サケについても屋根付き岸壁の魚価低下防止効果を計上することによる便益の増加 ・ 荷さばき所の新設に伴う衛生管理便益の増加 			
	1.37				

3. コスト縮減などの取組	取組内容		縮減額 (百万円)
	取組内容	縮減額 (百万円)	
	施工の最適化	航路・泊地浚渫で発生する土砂を用地造成に流用	100
	施工の最適化	既存施設のブロックを再利用しコストを縮減	53

V 評価

1. 必要性	本漁港は、水産物の安定供給を担い地域を支える重要な流通拠点漁港に位置づけられている。本地区の計画は、水産物の安全・安心な供給等のために衛生管理体制を強化するなど、事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。				
	a	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。			
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 海上工事であるため、油流出などによる水産物への被害を未然に防止するための非常用機材の配備等、工事施工に伴う周辺環境への影響は十分考慮するものである。 ● 漁期と施工時期を調整し、水産業への影響に配慮している。 				
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向				
3. 事業達成の見込み	● 地元期成会から漁港の整備促進について毎年度要望が出されている。				
	(3) その他の課題				
	● 特になし				
4. 対処方針	今後の事業実施に当たって、現時点で事業の進捗に影響する課題はなし。				
	a	a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b : 課題はあるものの達成は可能である。 c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。			
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和9年度の完成を目指して事業を継続する。				
	a	a : 継続 b : 終了 c : 休止 d : 中止			
事業期間変更の有無		無	事業内容変更の有無		有
総事業費変更の有無				有	

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】
	事前評価：平成28(2016)年度評価：要望を行うことは妥当 B/C=1.47
2. その他の取組事項	【特記事項】
	● 漁業者が中心となって、年数回漁港内の清掃活動を実施している。

補足資料

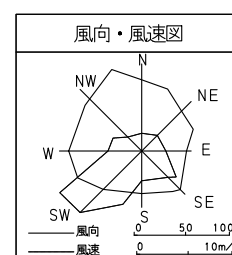
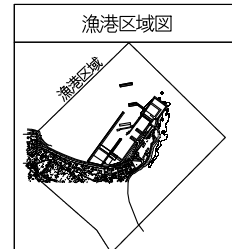
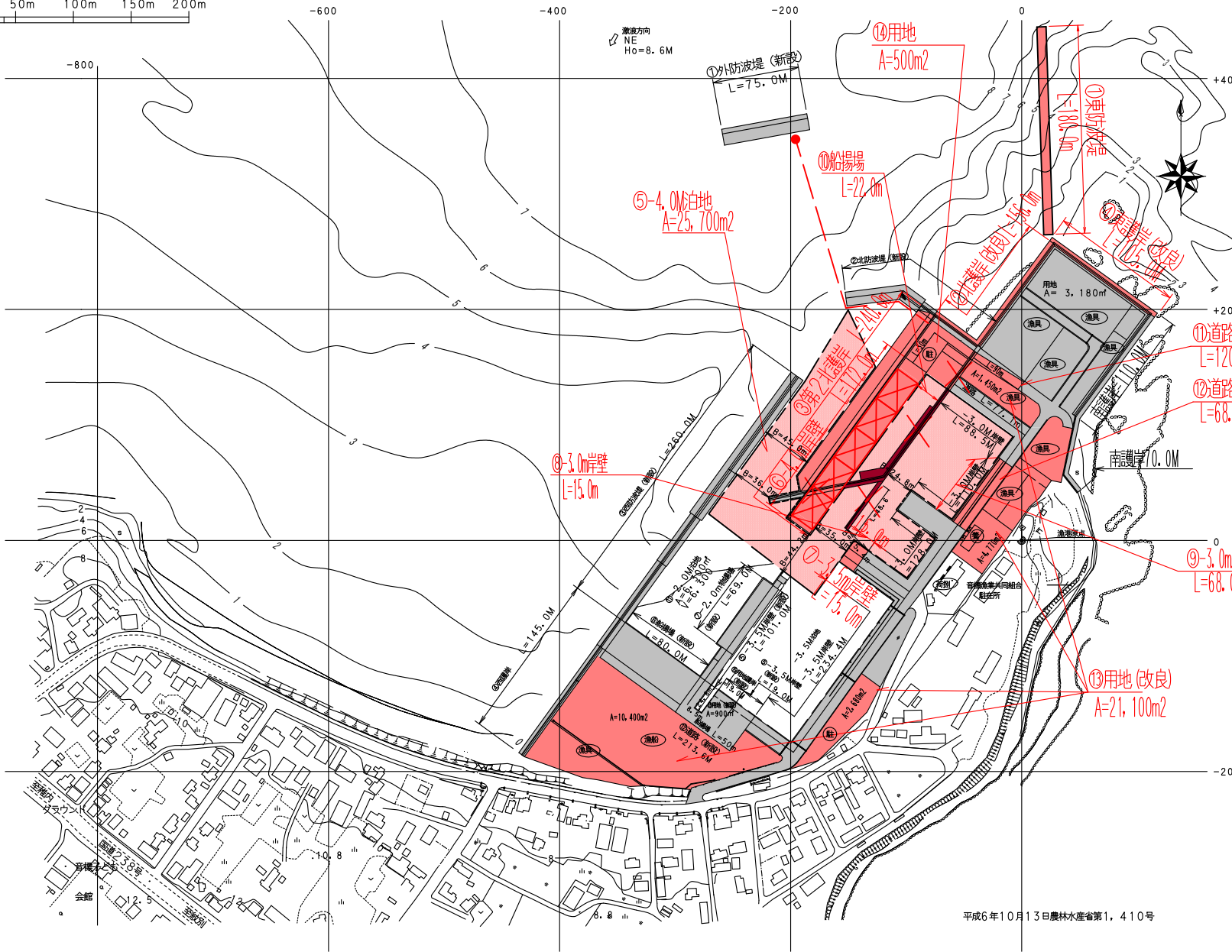
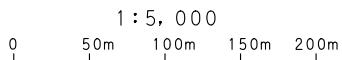
Ⅶ 事業計画変更

事業経過							経過 年 数	事業費			
再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)		当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)	
事前評価 又は当初		H30 (2018)	H30 (2018)	H28 (2016)		R9 (2027)	9,410				
変更①		H30 (2018)	H30 (2018)		H29 (2017)	R9 (2027)	9,620				
変更②	1回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R9 (2027)	13,694	1,061	5,684	42%	
<p>変更理由・内容</p> <p>変更①：総事業費の変更（事前評価後から事業採択までの変更） 事前評価 9,410百万円 → 事業採択 9,620百万円 音標地区 東防波堤：国との協議によりシミュレーション解析を行い防波堤の延伸による増額 用地（新設）：国との協議により駐車場用地を新設したことによる増額 清浄海水供給施設：国との協議により、-4.0m岸壁に移行 排水処理施設：国との協議により、-4.0m岸壁に移行 乙忠部地区 清浄海水供給施設：国との協議により、-4.0m岸壁に移行 排水処理施設：国との協議により、-4.0m岸壁に移行 山臼地区 -4.0m岸壁：国との協議により岸壁の延伸による増額 道路：国との協議により道路の延伸による増額 清浄海水供給施設：国との協議により、-4.0m岸壁に移行 排水処理施設：国との協議により、-4.0m岸壁に移行 徳志別地区 北防波堤（改良）：国との協議により廃工 北護岸（改良）：国との協議により廃工 岡島地区 用地（改良）：国との協議により面積を減工。</p> <p>変更②：総事業費の変更 事業採択 9,620百万円 → 今回評価 13,694百万円 音標地区 東防波堤：詳細調査・設計によるブロック重量の増加 東護岸：詳細調査・設計によるブロック重量の増加 用地改良：冠水対策及び湧水への対策として舗装工及び排水工の増工 乙忠部地区 用地（改良）：荷さばき所の新設に伴い既存用地の利用用途を変更するにあたり、衛生管理対策のため増工。 荷さばき所：衛生管理の向上や老朽化更新のため、計画変更で増工 山臼地区 外防波堤：詳細調査に伴う施工断面の増大、単価精査に伴う増額 突堤：詳細調査に伴う施工断面の増大、単価精査に伴う増額 船揚場（改良）：上架施設の詳細設計による施工断面の増大、地元要望による船舶待機箇所の追加 不可視部分及び単価精査に伴う増額 用地（改良）：冠水対策として、舗装工及び排水工の増工、漁船上架レールの増工</p> <p>測量設計費 荷さばき所の新設及び単価精査による増額</p>											

オホーツク枝幸地区
(オホーツク枝幸漁港(音標地区))
計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施工場所
1120050 (1120051)	第2種	北海道	北海道	北海道	北海道 枝幸郡 枝幸町 音標

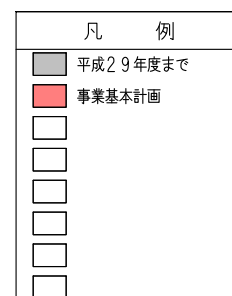
原点(世界測地系) X=-78.838.645m L=142-49-03
Y=+44.967.758m B=44-42-29



気象官署 枝幸測候所

潮位図

H. H. W. L.	+1.9
H. W. L.	+1.2
M. L. W. L.	+0.3
L. W. L.	±0.0 (T. P. -0.5)



オホーツク枝幸地区
 (オホーツク枝幸漁港(乙忠部地区))
 計画平面図

漁港番号
 1120050
 (1120052)

種別
 第2種

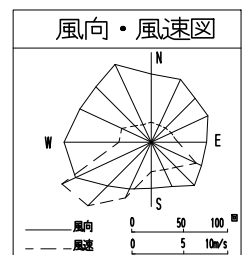
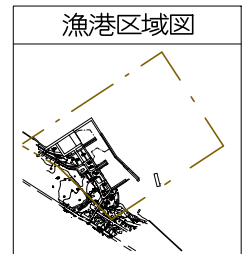
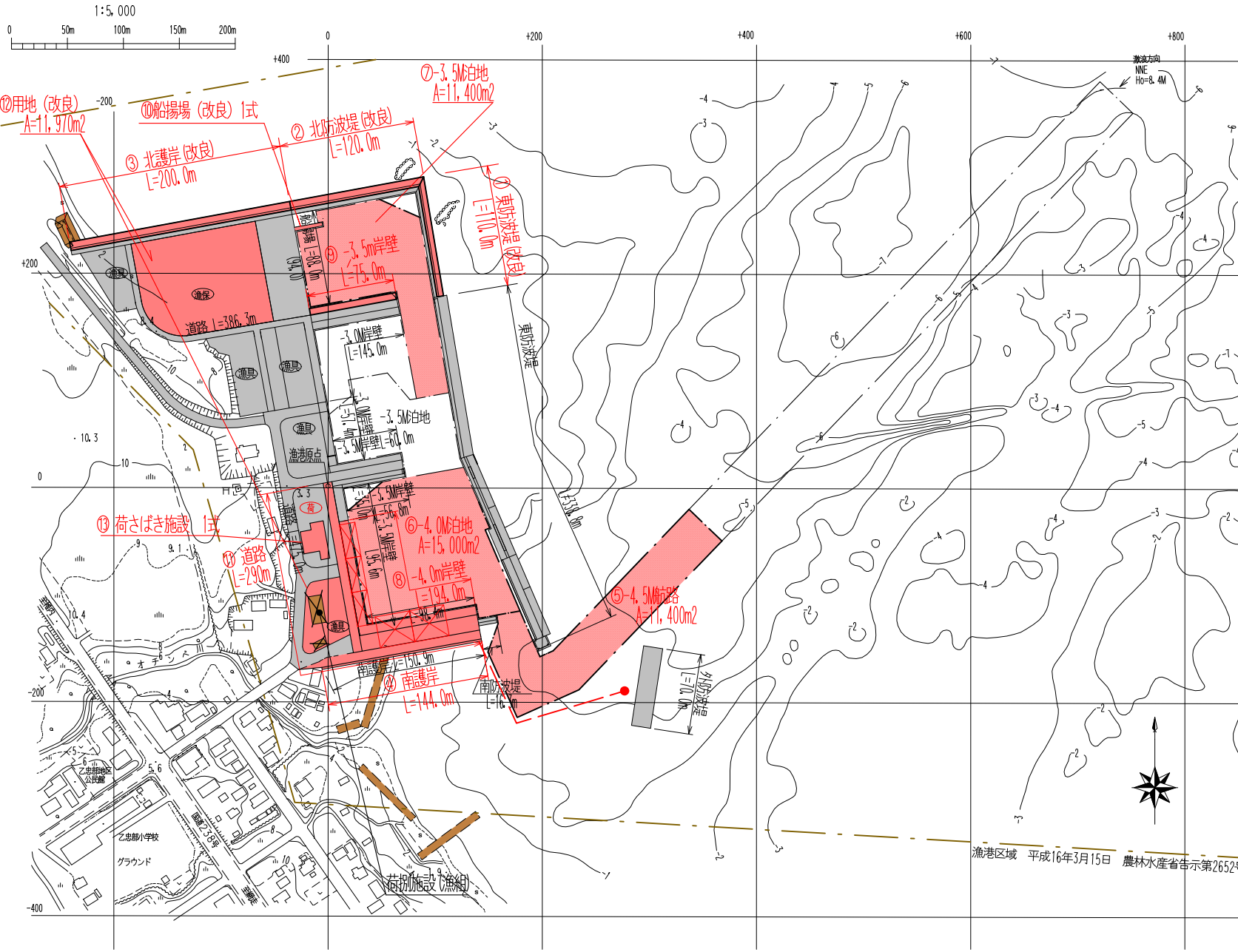
所管
 北海道

事業主体
 北海道

管理者
 北海道

施工場所

北海道 枝幸郡 枝幸町 乙忠部



気象官署 枝幸測候所

H.H.W.L	+1.9
H.W.L	+1.2
M.L.W.L	+0.3
L.W.L	+0.0

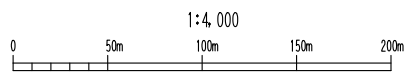
凡例

■	平成29年度まで
■	事業基本計画
■	他事業
□	
□	

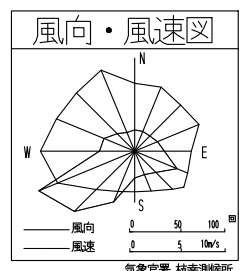
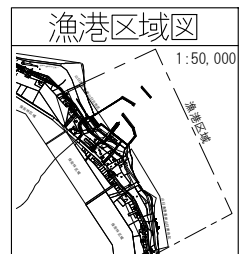
漁港区域 平成16年3月15日 農林水産省告示第2652号

オホーツク枝幸地区
(オホーツク枝幸漁港(山臼地区))
計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施工場所
1120050 (1120053)	第2種	北海道	北海道 枝幸漁業協同組合	北海道	北海道 枝幸郡 枝幸町 山臼

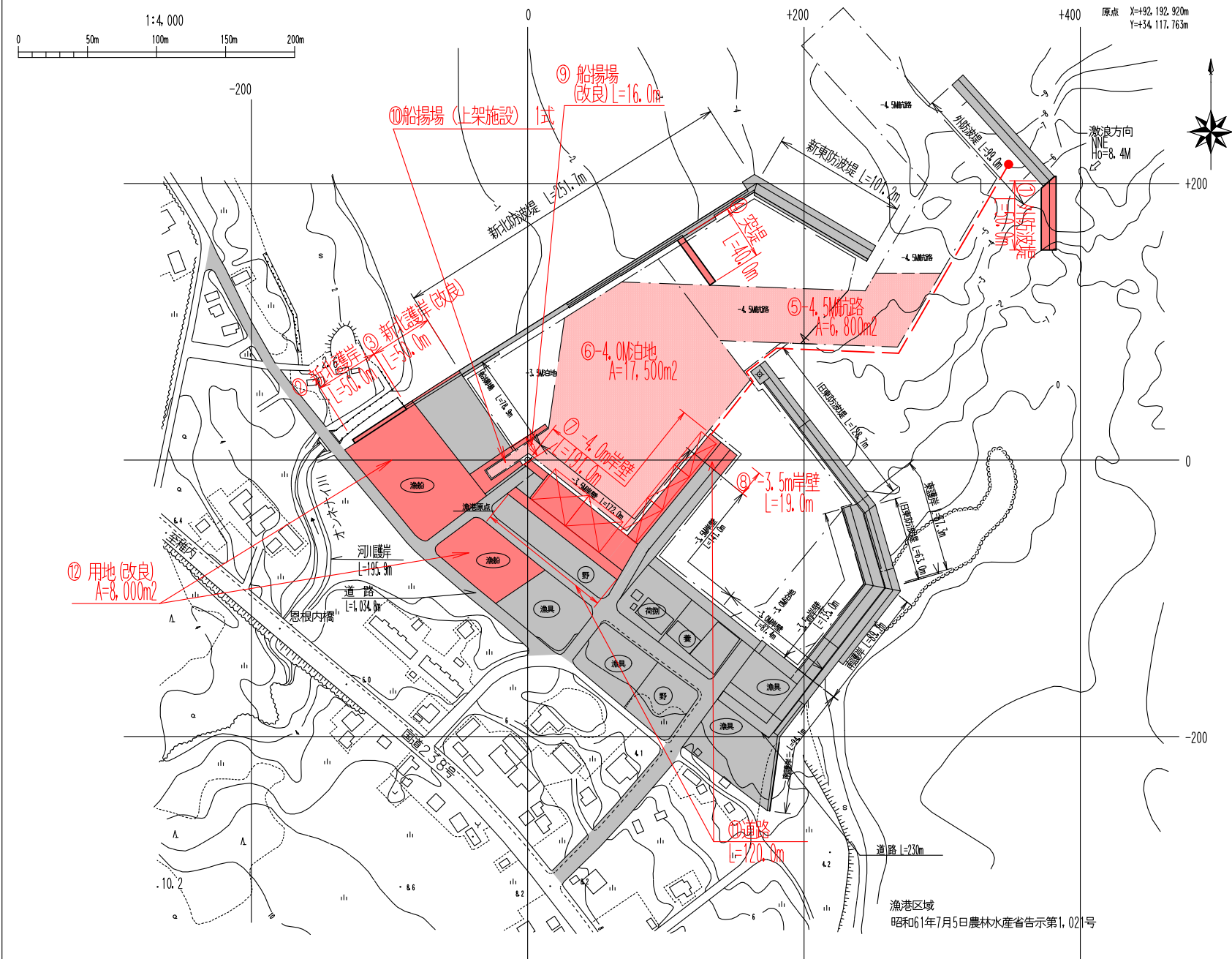


原点 X=92,192.920m
Y=34,117.763m



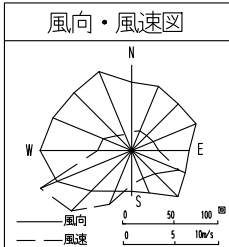
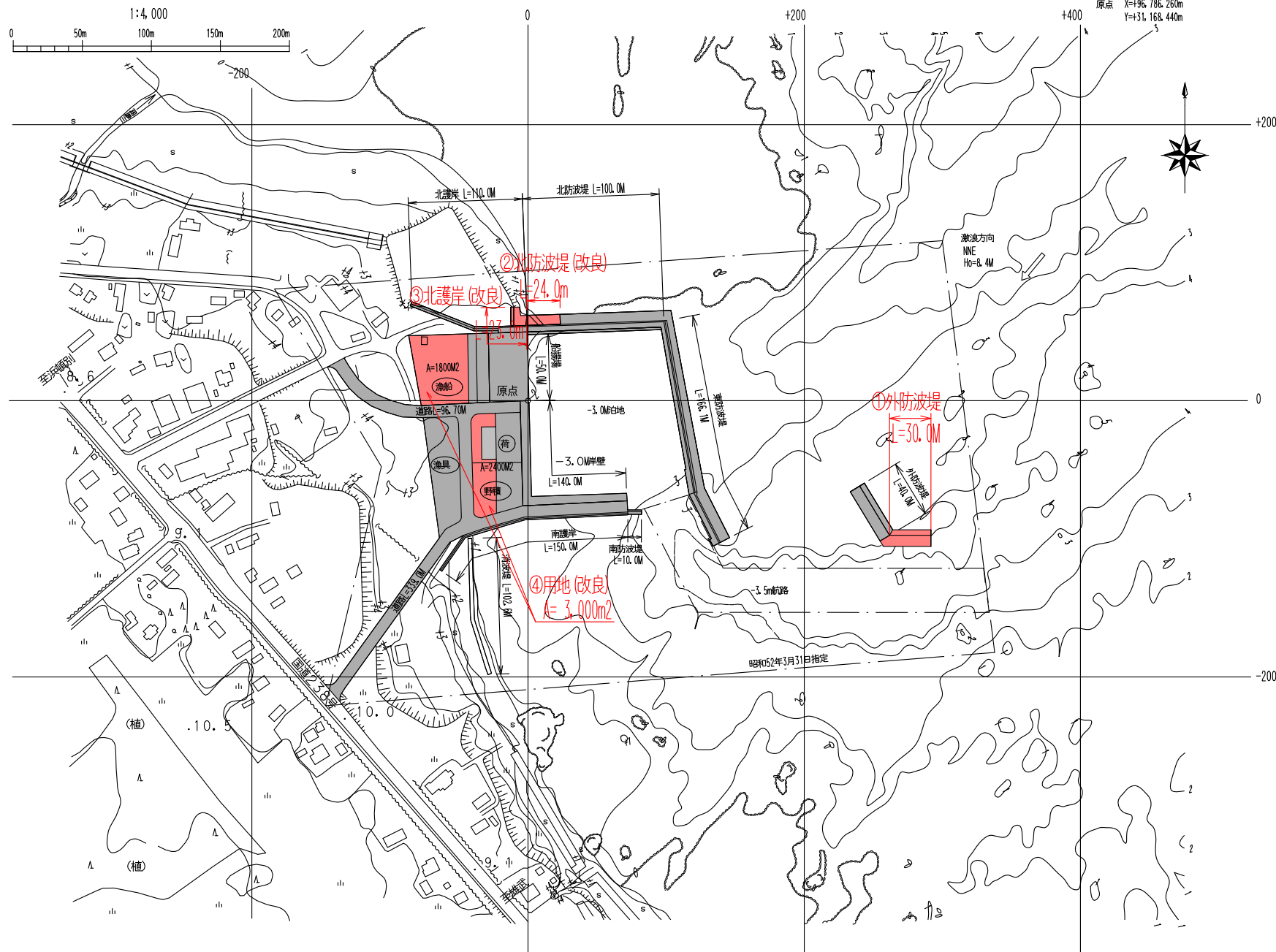
H.H.W.L	+1.9
H.W.L	+1.2
M.L.W.L	+0.3
L.W.L	+0.0

■	平成29年度まで
■	事業基本計画
□	
□	
□	



オホーツク枝幸地区
(オホーツク枝幸漁港(岡島地区))
計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施工場所
1120050 (1120055)	第2種	北海道	北海道	北海道	北海道 枝幸郡 枝幸町 岡島



潮位図

H.H.W.L	41.9
H.M.L	41.2
M.L.W.L	40.3
L.M.L	40.0

凡例

- 平成29年度まで
- 事業基本計画

[事業別概要書] (水産基盤整備事業)

事業名 : 水産流通基盤整備事業
地区名 : 枝幸南部地区 [オホーツク枝幸漁港]
 (北海道枝幸郡枝幸町)



●地区の概要
 第2種漁港であるオホーツク枝幸漁港は、北海道北部のオホーツク海に面した枝幸町に位置し、ほたてがい桁網漁業、さけ定置網漁業、けがにかご漁業など、沿岸漁業の中核漁港としての役割を果たしている。
 枝幸町で行われるほたてがい桁網漁業は、ホタテガイの地撒き漁場を南から北にかけて4区画造成し、4年に1度操業(4輪採)する特徴ある操業形態となっており、当漁港では、地先にあるホタテガイ漁場3区画の漁獲と稚貝放流を支えるため、ホタテガイを計量する施設を分散配置し、1地区に陸揚げが集中することを防ぐなど、一体的な利用がなされている。
 また、当地域ではホタテガイの輸出に積極的に取り組んでおり、当漁港は地域内で水産物流通の拠点となっている。

属地陸揚量: 17,904トン、属地陸揚金額: 4,952百万円 (H30~R3の平均)
 主な魚種: ホタテガイ、サケ、マス、ケガニ

●事業の目的
 当該地区で生産されたホタテガイは国内外に広く流通し、EU諸国への輸出にも積極的に取り組んでいる。しかしながら、鳥糞や直射日光等による陸揚げ時の鮮度低下など、品質・衛生管理対策が課題となっており、消費・輸出拡大及び国内水産物の競争力強化を図るため、衛生管理対策を推進する。
 また、各地区の課題である航路・港内静穏や越波、係船岸不足に対応するため、外郭施設の新設・改良、岸壁の整備を進める。
 併せて、漁船の大型化に伴い水深を新諸元に合わせる必要があるため、岸壁や水域施設の増深を行うとともに、地域の水産物流通拠点として、災害時においても早期に水産業の機能回復を図るため、岸壁の耐震化を図る。

事業内容

- ・事業量 : 音標地区 … 東防波堤、-4.0m岸壁、-4.0m泊地等
 乙忠部地区… 東防波堤、-4.0m岸壁、-4.5m航路等
 山臼地区 … 外防波堤、-4.0m岸壁、-4.5m航路等
 徳志別地区… 外防波堤
 岡島地区 … 外防波堤、用地等
- ・事業主体 : 北海道、枝幸漁業協同組合
- ・事業期間 : H30~R9
- ・総事業費 : 13,694百万円
- ・B/C : 1.37



〔事業別概要書〕（水産基盤整備事業）

事業名 : 水産流通基盤整備事業

地区名 : 枝幸南部地区 オホーツク枝幸漁港（音標地区）
（北海道枝幸郡枝幸町）



●地区の概要

当漁港では、さけ定置網漁業及びます小定置網漁業で水揚げ全体の7割を占めているが、枝幸町のほたてがい桁曳網漁業は四輪採制をとっており、当漁港が陸揚基地港となった際は、町内のほたてがいの50%を生産するなど、重要な役割を担っている。

〔 属地陸揚量: 7,299トン、属地陸揚金額: 1,919百万円（H30～R3の平均）
主な魚種: ホタテガイ、サケ、マス、ケガニ 〕

●事業の目的

消費者の安全性を求めるニーズに対応するため岸壁に屋根を整備し、衛生管理体制の向上を図るとともに、地域の水産物流通拠点として災害時においても水産物の早期回復を図るため、岸壁の耐震化を図る。

また、漁船の大型化に対応するために水域の増深及び岸壁整備を行う。

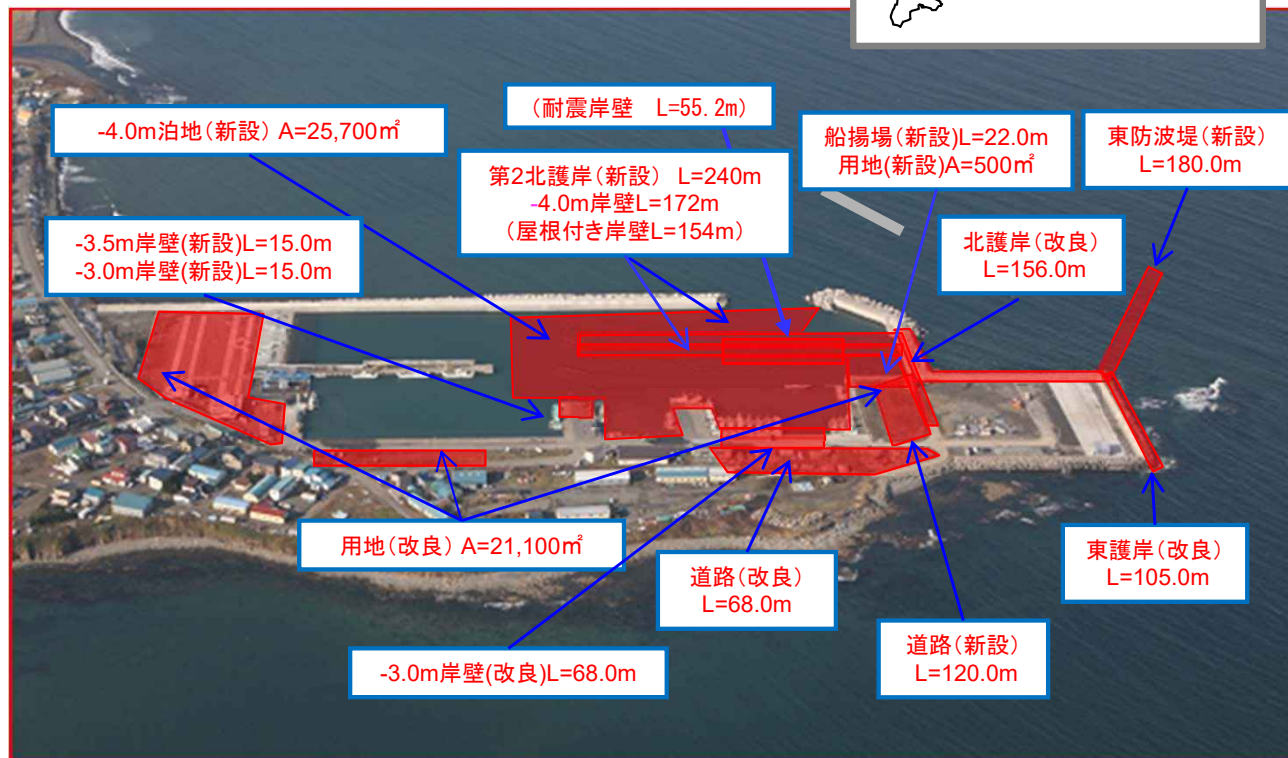
さらには、近年の波高増大（旧NNE6.1m、新NE9.1m）による越波に対応するための護岸嵩上げ、航路静穏確保のための防波堤を新設する。

併せて、漁船及び漁具を保管するため、用地舗装を行う。

事業内容

・事業量	東防波堤	L=180m
	北護岸（改良）	L=156m
	第2北護岸	L=240m
	東護岸（改良）	L=105m
	-4.0m泊地	A=25,700㎡
	-4.0m岸壁	L=172m
	-3.5m岸壁	L=15m
	-3.0m岸壁（新設・改良）	L=15m / L=68m
	船揚場	L=22m
	道路（新設・改良）	L=120m / L=68m
	用地（新設・改良）	A=500㎡ / A=21,100㎡

・事業主体 : 北海道
・事業期間 : H30～R9
・総事業費 : 5,282百万円

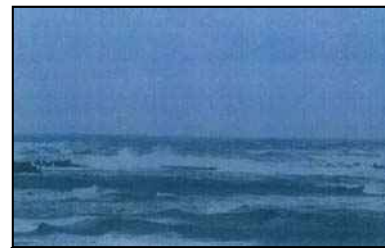


越波による被害の解消



○港内の静穏状況
荒天時は東防波堤より越波が生じる。

航路静穏の向上



○航路の静穏状況
東方向の波によって、航路の静穏が悪く、航行に支障を及ぼしている。

港内狭隘の解消



○港内の狭隘状況
係船岸が足りておらず、隙間なく係留している状況。場合によっては2隻や3隻づつで係船している。

〔事業別概要書〕（水産基盤整備事業）

事業名：水産流通基盤整備事業

地区名：枝幸南部地区 オホーツク枝幸漁港（乙忠部地区）
（北海道枝幸郡枝幸町）



●地区の概要

当漁港では、さけ定置網漁業及びます小定置網漁業での水揚げが全体の8割を占めているが、枝幸町のほたてがい桁曳網漁業は四輪採制をとっており、当漁港が陸揚基地港となった際は、町内のホタテガイの50%を生産するなど、重要な役割を担っている。

〔 属地陸揚量：7,586トン、属地陸揚金額：1,663百万円（H30～R3の平均）
主な魚種：ホタテガイ、サケ、マス 〕

●事業の目的

消費者の安全性を求めるニーズに対応する異物混入対策や日光による鮮度低下対策のため、屋根付き岸壁の整備及び老朽化した荷さばき所の更新を行い、水揚げから出荷までの一貫した衛生管理体制を確保するとともに、地域の水産物流通拠点として災害時においても水産業の早期回復を図るため、岸壁の耐震化を図る。

また、漁船の大型化に対応するために水域の増深及び岸壁整備を行う。

さらには、近年の波の増大（旧NNE6.1m→新NNE8.4m）による越波に対応するため、防波堤の改良を行う。

併せて、漁船及び漁具を安全、衛生的に保管するために用地舗装を行う。



事業内容

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ・事業量：東防波堤（改良）L=110.0m | 北防波堤（改良）L=120.0m |
| 北護岸（改良）L=200.0m | 南護岸L=144.0m |
| -4.5m航路A=11,400m ² | -4.0m泊地A=15,000m ² |
| -3.5m泊地A=11,400m ² | -4.0m岸壁L=194.0m |
| -3.5m岸壁L=75.0m | 船揚場 1式 |
| 道路L=290.0m | 用地（改良）A=11,970m ² |
| 荷さばき所 1式 | |

- ・事業主体：北海道・枝幸漁業協同組合
- ・事業期間：H30～R9
- ・総事業費：3,997百万円

陸揚げ作業及び荷捌き所の衛生管理向上



屋外で作業を行うため、直射日光や鳥糞の混入による衛生管理上の問題がある。

港内静穏の向上



老朽化により、床に溜まった水や天井から落ちる錆が漁獲物に混入するおそれがある。

上架作業等の効率化



○越波状況
越波により係留している漁船が損傷するおそれがある。



○上下架作業状況
地面の凸凹により船体が不安定になる。

〔事業別概要書〕（水産基盤整備事業）

事業名 : 水産流通基盤整備事業

地区名 : 枝幸南部地区 オホーツク枝幸漁港（山臼地区）
（北海道枝幸郡枝幸町）



●地区の概要

当漁港では、さけ定置網漁業及びます小定置網漁業での水揚げが全体の7割を占めているが、枝幸町のほたてがいが桁曳網漁業は四輪採制をとっており、当漁港が陸揚基地港となった際は、町内のほたてがいの50%を生産するなど、重要な役割を担っている。

（ 属地陸揚量:2,407トン、属地陸揚金額:1,010百万円（H30～R3の平均）
主な魚種:ホタテガイ、サケ、マス、ケガニ ）

●事業の目的

消費者の安全性を求めるニーズに対応するため岸壁に屋根を整備し、衛生管理体制の向上を図るとともに、地域の水産物流通拠点として災害時においても水産物の早期回復を図るため、岸壁の耐震化を図る。

また、漁船の大型化に対応するために水域の増深及び岸壁整備を行う。
さらには、近年の波の増大(旧NE6.1m→新NE9.0m)による越波に対応するため、護岸の整備を行うとともに、航路・港内静穏確保のため外郭施設を整備する。併せて、漁船を安全に保管するため、用地舗装を行う。



事業内容

・事業量	外防波堤	L=50m
	新北護岸（新設・改良）	L=50m / L=50m
	突堤	L=40m
	-4.5m航路	A=6,800㎡
	-4.0m泊地	A=17,500㎡
	-4.0m岸壁	L=191m
	-3.5m岸壁	L=19m
	船揚場（改良）	L=16m
	船揚場（上架施設）	一式（漁協施工）
	道路	L=120m
	用地（改良）	A=8,000㎡

- ・事業主体 : 北海道、枝幸漁業協同組合
- ・事業期間 : H30～R9
- ・総事業費 : 3,253百万円

陸揚げ作業の衛生管理向上



○陸揚げ作業状況
屋外で作業を行うため、直射日光や鳥糞の混入による衛生管理上の問題がある。

越波による被害の解消



○北護岸越波状況
荒天時、北防波堤及び北護岸が低いいため越波しており、漁船等の被害が発生している。

港内静穏の向上



○港内静穏状況
港口からの沿い波や、防波堤からの越波により、港内静穏が悪い。

〔事業別概要書〕（水産基盤整備事業）

事業名：水産流通基盤整備事業

地区名：枝幸南部地区 オホーツク枝幸漁港（徳志別地区）
（北海道枝幸郡枝幸町）



●地区の概要

当地区は、北海道の最北部宗谷管内に位置し、オホーツク海に面する枝幸町に所在している。

当漁港では、さけ定置網漁業及びます小定置網漁業での水揚げが全体の8割を占めており、そのほか刺し網漁業、かご漁業、採藻漁業などが行われている。

属地陸揚量: 333トン、属地陸揚金額: 199百万円 (H30~R3の平均)
主な魚種: サケ、タコ、カレイ

●事業の目的

航路・港内の静穏が悪く、漁船の係留・安全航行に支障をきたしているため、外防波堤を延ばし、より安全で効率的な労働環境を整備する。



事業内容

- ・事業量：外防波堤 L=60m
- ・事業主体：北海道
- ・事業期間：R3~R6
- ・総事業費：268百万円

港内静穏の向上



〔事業別概要書〕（水産基盤整備事業）

事業名 : 水産流通基盤整備事業
地区名 : 枝幸南部地区 オホーツク枝幸漁港（岡島地区）
（北海道枝幸郡枝幸町）



●地区の概要

当地区は、北海道の最北部宗谷管内に位置し、オホーツク海に面する枝幸町に所在している。

当漁港では、さけ定置網漁業及びます小定置網漁業での水揚げが全体の8割以上を占めており、そのほか刺し網漁業、かご漁業、採藻漁業などが行われている。

属地陸揚量: 278トン、属地陸揚金額: 162百万円（H30～R3の平均）
主な魚種: サケ、タコ、コンブ

●事業の目的

近年の波の増大（旧NE6.1m→新NE8.8m）による越波により、背後の用地に被害が生じているため、外郭施設を嵩上げすることで越波の解消を図る。

また、航路の静穏が悪く、漁船の航行に支障をきたしているため、外防波堤を延ばし、より安全で効率的な労働環境を整備する。

併せて、漁船を安全に保管し、漁具の洗浄作業の負担を軽減させるため、用地舗装を行う。



事業内容

- ・事業量 : 外防波堤 L=30m
北防波堤（改良） L=24m
北護岸(改良) L=23m
用地（改良） A=3,000m²
- ・事業主体 : 北海道
- ・事業期間 : R3～R9
- ・総事業費 : 369百万円

港内静穏の向上



○港内の静穏状況
荒天時の港内静穏が悪く、漁船の係留に支障がある。

越波の解消



○北護岸越波状況
北護岸からの越波により、土砂が飛散。